

第3学年 国語科学習指導案

1 単元名 場面の様子をそうぞうしながら読もう「ちいちゃんのかげおくり」

2 指導観

本学級の子どもたちは、これまでの学習で、場面をとらえ、場面を比べて、人物の気持ちや様子を中心にしながら場面の様子を思い描いてきた。その学習は大変意欲的で、読み方の一つ一つの学びを喜びとして受けとめていった。

読み方としては、「ことばをはずして読む」「ことばを比べて読む」「ことばをつないで読む」などを学習してきている。ただ、場面意識は出てきたものの、場面をこえて叙述をつなぐ力はまだ十分ではない。意識させるためには手立てが必要である。

また、こうした読み方の学習は、これまで、教師の支援にもとづいた活動であった。まだ、自分の読み方を主体的に生かした学習とはなっていない。

伝え合いとしては、場面の様子や人物像についての考えをもち、出し合うまではできている子どもが多い。発声も大きく、学習訓練が行き届いている。さらに、練り合う活動を工夫改善し、考えのよさや不十分さを十分に話し合っていくと、より高まった考えへと話し合いを展開することができると思われる。

本教材は、次のような特質をもっている。

- ・一行空きで場面がはっきり分けられており、それぞれの場面の様子の違いがはっきりしている。
- ・ダッシュ、「きらきら」という同じ言葉のくり返し、「小さな女の子の命が空に消えました」という抽象語など、書き手の意図的な表現がちりばめられている。
- ・会話文や周りの様子がきちんと書きこまれており、人物（ちいちゃん）の姿や思いを想像できる。

したがって、単に戦争や平和について考えさせることができるだけでなく、人物の言動に着目して場面と場面のつながりを読む読み方を習得することができる教材である。

その特質を踏まえた基礎・基本として、次の点が挙げられる。

- ・場面と場面をつないで読む。
- ・ダッシュを読む。
- ・同じことばをくらべて読む。
- ・似ていることばをくらべて読む。
- ・ことばをはずして読む。
- ・自分におきかえて読む。
- ・読み取ったことを叙述を根拠にして説明する。
- ・自分の読みと友達の読みの共通点や違いに気づき、そのよさを見つける。

そこで、指導にあたっては、問題解決的な学習過程の中で伝え合いを意識させて学習を進め、読み方としての基礎・基本を習得させ、活用を図っていきたい。

そのために、まず、題名での「ちいちゃんのかげおくりって、どんなかげおくりのことなのだろう？」という疑問をもとに読み通しの目をもたせ、あらすじをとらえさせた上で、予見をもつことができるようにする。

次に、代表の子どもの提案、質問、カルテをもとにした意図的な指名を行うなどして、うれしかげおくりと悲しいかげおくりについての互いの考えの重なりや違いを明らかにし、家族に会いたいちいちゃんの思いと弱っていく様子を確かめる学習計画を立てる。

さらに、読み方としての基礎・基本である「読みアイテム」を活用し、自分はこのことばをこの読み方でこう読んだという説明ができるように、場面毎に書き込み、話し合いのサイクルを大切に読み確かめを進める。書き込みの前には叙述に立ち止まった話し合いを行って全員に書き込みの見通しをもたせるようにする。そして、書き込みの期間巡視により把握した内容をもとにした意図的な発表、考えの違いからの整理や問い返し、文章構造と考えの違いを生かした板書

5 学習計画（全13時間）

週時	主な学習活動	指導上の留意点
読み通しの目	1 単元名を読み，学習の構えを持つ。 2 題名を読む。 3 冒頭を読み，読み通しの目を作る。	<p>自分におきかえて読む は常に意識させる</p> <p>家族四人のかげおくりやお兄ちゃんと二人のかげおくりなのに，なぜ題名は「ちいちゃんのかげおくり」になっているのかという疑問から，「ちいちゃんだけのかげおくりなのではないか」「かげおくりには何か特別な意味があるのではないか」と問題意識を持たせ，読み通しの目を生み出す。</p> <p>はずして読む（ちいちゃんの）かげおくり つないで読む 体の弱いお父さん - 記念写真</p> <p>読み通しの目 ちいちゃんのかげおくりって，どんなかげおくりなのかな。</p>
予見	2 1 全文を読み，場面を分ける。 3 2 各場面のちいちゃんを大まかに読み取り，あらすじをつかむ。 4 5 3 ちいちゃんのかげおくりとはどんなかげおくりなのか，自分の読みを予見として書きまとめる。 6 4 個々の予見を出し合い，予見の違いに気付く。 5 予見の根拠を発表し合い，場面毎のちいちゃんの気持ちの変化に目を向ける。 6 クラスの予見を方向付ける。	<p>教師の範読により，一行空き 時を表す言葉 挿絵との対応を手がかりに，5つの場面があることをつかませる。</p> <p>場面は時・場所・人物で決まる</p> <p>ちいちゃんがしたこと言ったこと（思ったこと）をもとに，それぞれの場面を40字程度にまとめさせる。</p> <p>ちいちゃんがだんだんひとりぼっちになっていく様子と，「ちいちゃんのかげおくり」は四の場面が出てくることに気付かせる。</p> <p>場面をつないであらすじをとらえさせるとともに，一言で言うと「ちいちゃんのかげおくり」はどんなかげおくりなのかを付け加えて書きまとめるようにする。</p> <p>あらすじにおける（ひとりぼっち 待つ かげおくりをして家族に会える）は共通として確認し，うれしい，悲しいはだれがそう思ったか主体を確認してまとめるようにする。</p> <p>予見の方向 家族とはぐれてひとりぼっちになってしまったけれども家族と会えることを信じていたちいちゃんが，たった一人でかげおくりをして空で家族と会えた，ちいちゃんにとってはうれしいかげおくり。でも，本当はたった一人で命をおくった，かなしいかげおくり。</p>
学習計画	1 ちいちゃんの気持ちの変化に目を向け ちいちゃんの様子と気持ちを読み取る学習計画を立てる。 ・家族に会いたくてたまらない気持ち ・ちいちゃんが弱っていく様子	<p>家族に会いたくてたまらないちいちゃんの思いと，ちいちゃんの体が弱っていく様子を場面ごとに追う中で，次の疑問を解決していくようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どれくらいお母ちゃんやお兄ちゃんに会いたかったのか？ 場面をつないで読む ・どうして一人なのに「帰ってくるよ」と言っているのか？ 文末表現を読む ・どうして「食べました」が「かじりました」に変わっているのか？ 比べて読む ・ちいちゃんは，どのようにして死んでしまっ

			<p>たのか？ つないで読む</p> <p>・ちいちゃんはいないのになぜ最後の五の場面があるのか？ 場面をくらべて読む</p>
読み 確 か め	8	1 とつぜんひとりぼっちになって、どうしていいかわからないちいちゃんの様子と気持ちを読み取る。	<p>「ちいちゃんは、ひとりぼっちになりました。」と「たくさんの人たちの中でねむりました。」をつないで疑問を持たせ、「たくさんの人」がどんな人たちが考えさせることで、ちいちゃんの不安な気持ちを読ませるようにする。</p> <p>「ひとりぼっち」の見方・考え方の深化 比べて読む つないで読む ダッシュを読む</p>
	9 (本 時)	2 お母ちゃんとお兄ちゃんが帰ってくる と信じて待つちいちゃんの様子と気持ち を読み取る。	<p>「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ。」を中心に、「どこがうちなのか。」「ちいちゃんは、なくのをやっところえて」「家は、やけ落ちてなくなっていました。」をつないで、家にもどってくるまでのちいちゃんの様子と、「深くうなずきました。」「また深くうなずきました。」をつないで、家族に会いたくてたまらないちいちゃんの気持ちを読み取らせる。</p> <p>「きっと～よ。」は自分の心に対する思いという認識 文末表現を読む</p> <p>「少し食べました。」「少しかじりました。」をつないで比べさせることで、ちいちゃんの弱っていく様子を確かめさせる。</p> <p>比べて読む</p>
	10	3 一人でかげおくりをして家族に会えた ちいちゃんの様子と気持ちを読み取る。	<p>「ちいちゃんは、ふらふらする足をふみしめて立ち上がると、たった一つのかげぼうしを見つめながら、数えだしました。」を中心に、ふらふらしているわけを、「暑いような寒いような気がしました。」とつないで読ませるとともに、なぜ自分から数え出してちいちゃんがかげおくりをしたのか考えさせ、家族に会いたくてたまらないちいちゃんの気持ちを読み取らせる。</p> <p>つないで読む 場面をつないで読む</p> <p>きらきら笑う様子をつないで、家族に会えたうれしさを読み取らせ、さらに、ちいちゃんの心と体はどこにあるのかを考えさせ、ちいちゃんが死んでしまったことを読み取らせる。</p> <p>つないで読む</p> <p>なぜ「ちいちゃんが、死んでしまった。」と書かないで、「小さな女の子の命が、空に消えました。」と書いたのか、ことばを比べて、これまでの学習を振り返らせたりして考えさせる。 比べて読む</p> <p>「命」の見方・考え方の深化</p>
読み と 読	12 ・ 13	1 五の場面の意味を読み取り、題名に戻 って自分の感想を書きまとめ、発表する。 2 学習した読み方をまとめる。	<p>五の場面の子もたちとちいちゃんの「きらきら」という様子を比べ、書き手の平和への思いを考えさせ、「ちいちゃんのかげおくり」とはどんなかげおくりなのかを書きまと</p>

み 方 の ま と め	めさせる。 場面を比べて読む 戦争・平和の見方・考え方の変容
	【読みアイテム】 ・はずして読む ・比べて読む ・つないで読む ・ダッシュを読む ・文末表現を読む ・場面をつないで読む ・場面を比べて読む ・自分におきかえて読む

6 本時の目標

文末表現や似ていることばを読んだり，人物の言動をつないだりして読み方で「きっと帰ってくるよ。」というちいちゃんの様子を読み取り，家族に会いたくてたまらないちいちゃんの思いを確かめることができる。

7 本時指導の考え方

前時までに，子どもたちは，ちいちゃんのかげおくりを，次のようにとらえている。

(予見)

- ・幼いちいちゃんが，ひとりぼっちで，飲む物も食べる物もなく，だんだん弱って苦しみながら死んでいく悲しいかげおくり
- ・家族とはなればなれで会いたくてたまらなかつたちいちゃんが，家族に会えてうれしいかげおくり

学習計画としては，ひとりぼっちでさびしくてだんだん弱っていきながらも，家族に会いたくてたまらないちいちゃんの様子を確かめるようにした。子どもたちの言葉で言い換えると，ちいちゃんはどれくらい苦しいのか，どれくらい会いたいのかをくわしく読んでいくこととした。本時場面（三の場面）は，「お母ちゃんとお兄ちゃんは，きっと帰ってくるよ。」を中心文にして，読み確かめていけばよいことを確認している。その中で，次の疑問を持っている。

- ・だれもないのにどうして「帰ってくるよ」と言っているのか（文末表現を読む）
- ・どうして「食べました」が「かじりました」に変わっているのか（比べて読む）

本時は，前時に引き続き，読み確かめの2時間目である。読み確かめは，読みの基礎・基本を習得する過程である。一つ一つのことばや場を深く読み，考え，読み通しの目と予見を結んで読み確かめていく。

そのために，まず，めあてにつながることばを選び，自分の読みと説明を書き込ませる。書き込ませるために，次の学習活動を行う。

めあてを確認した後，本時場面を音読させる。

本時場面のちいちゃんの様子が分かる箇所に線を引き，出し合う中で，落ち込みを確かめていく。

- ・「どこがうちのなか -。」「ちいちゃんは，なくのをやっところらえて」「家は，やけ落ちてなくなっていました。」「深くうなずきました。」をつないで
中心文「～きっと帰ってくるよ。」の読み方を読みアイテムで確認する。
- ・「きっと」...はずして読む
- ・「よ」...文末表現を読む

だれもないのにどうして「帰ってくるよ」と言っているのか

- ・「帰ってくる」...「深くうなずきました」とつないで読む
- 「少し食べました」と比べたり時を表す言葉とつないだりして，「少しかじりました」の学習計画時の疑問を解決する見通しをもたせる。

- ・「少し食べました また少しかじりました」...くらべて読む
- ・「朝になりました。」 「その夜」 「くもった朝が来て，昼がすぎ，また，暗い夜が来ました。」...時を表す言葉

次に，書き込んだ読みを発表し，一人一人の感じ方や理解の仕方の違いを大切にし，比べ，結んで，より深く確かな表現の読み取りをしていく。

読み深めた読みを出し合う。

共通点や相違点について話し合う。

読みがずれている箇所（ことば）の意味と働きを検討していく。

その場に自分を立たせ、「自分ならどうするか」という内側から追究する読みをさせるために、既習の読みの基礎・基本（読みアイテム）を振り返らせて活用させる。

- ・「きっと」をはずして読む...絶対等とどうちがうか
- ・「よ」という文末表現を読む...だれに対して言っているのか
- ・「帰ってくる」と「深くうなずきました」をつないで読む...なぜ言えたのか
- ・「少し食べました」と「また少しかじりました」をくらべて読む...なぜ違うのか

最後に、本時の読みと読み方のまとめを数名に発表させた上で「今日の学習で」に書かせ、本時学習をまとめる。

8 本時の展開

学習活動と内容	指導上の留意点
<p>1 本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>「きっと帰ってくるよ。」というちいちゃんの様子を読み取り、家族に会いたくてたまらないちいちゃんの思いをたしかめよう。（三の場面）</p> <p>2 本時場面のちいちゃんの様子を読み取り、予見を確かめる。</p> <p>(1) 本時場面を音読する。</p> <p>(2) 家族に会いたくてたまらないことが分かる叙述について話し合う。</p>	<p>掲示物を用いて、前時に読み確かめたちいちゃんの様子を想起させるとともに、どのように変わっていくのか、それとも変わらないのか考えさせる。</p> <p>自分のめあてを列指名で発表させる。発表の仕方や友達の発表の聞き方を確認させる。</p> <p>まずは傍線を引かせ、出し合うようにする。読みアイテムを意識させながら、ちいちゃんの様子をとらえさせていく。</p>
<p>・「どこがうちなのか -。」ダッシュを読む</p> <p>・「ちいちゃんは、なくのをやっとこらえて」自分におきかえて読む</p> <p>・「家は、やけ落ちてなくなっていました。」自分におきかえて読む</p> <p>・「深くうなずきました。」くりかえしを読む</p>	
<p>(3) 中心文「～きっと帰ってくるよ。」の読み方を読みアイテムで確認する。</p>	
<p>・「きっと」はずして読む</p> <p>・「よ」文末表現を読む だれもないのにどうして「帰ってくるよ。」と言っているのか</p> <p>・「帰ってくる」と「深くうなずきました」をつないで読む</p>	
<p>(4) 学習計画時の疑問を解決する見通しをもたせる。</p>	
<p>・「少し食べました」と「少しかじりました」を比べて読む</p> <p>・時を表す言葉（「朝になりました。」 「その夜」 「くもった朝が来て、昼がすぎ、また、暗い夜が来ました。」とつないで読む</p>	
<p>(5) 自分の読み取りを書き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きっと」...はずして読む ・「よ」...文末表現を読む <p>(6) 書き込みをもとに、話し合う。</p>	
<p>例)</p> <p>A 落ち込んでいるけど、絶対に帰ってくると信じるくらい会いたくてたまらない。</p> <p>B あきらめないように自分に言い聞かせてがんばるほど会いたくてたまらない。</p> <p>C 体がどんどん弱っていつているけど、</p>	<p>机間巡視の際に、子どもたちの読み取りをカルテに把握し、その後の話し合いにおける指名順を考える。</p> <p>子どもの読み取りの共通点や違いを確認しながら話し合いを整理する。</p> <p>読みアイテムを提示し、ちいちゃんの家族への思いを読み取るようにする。</p>

場面のよつすをそつぞつしながら読ませよう

ちいちゃんのかげおくり

めあて「きつと帰ってくるよ。」というちいちゃんの様子を読み取り、家族に会いたくてたまらないちいちゃんのことをたしかめよう。(三)の場面)

朝になりました。

町の様子はすっかりかわっています。

「ダッシュ」を讀む

家は焼け落ちてなくなっていました。

深くうなずきました。

また深くうなずきました。

ほしいいを少し食べました。

これがかかった暗いほろへろの中でおむりしました。

ほしいいを少し食べました。

ほしいいを少し食べました。

くもった朝が来て、昼がすぎ、また、暗い夜が来ました。

ほしいいを、また少しがじりました。

これがかかったほろへろの中でおむりしました。

落ち込んでいるけど、絶対に帰ってくると思ってる。会いたくてたまらない。

あきらめないよ。自分に言い聞かせてがんばる。会いたくてたまらない。

体がどんどん弱っていくけど、負けないくらい会いたくてたまらない。

まとめ 家さえなくなっているうなずくことしかできなかつたちいちゃんは、二人が帰ってくることを信じて自分なりにがんばった。体もどんどん弱っていったけど、必死に生きて待とうとがんばった。今日の読みアイテム

「あきらめないよ。」に書き込みをしよう。ポイント「きつと」を今までの読みとつなぐことと、「帰ってくる」を今までの読みとつなぐことと、「よ」はだれに言っているのかを考えて文末表現を読むことと。

「きつと」をはずして読んだら、帰ってくるか分からなけれど、そうやってほしいという強い願いが分かります。(読みアイテム)

落ち込んでいるから絶対に帰ってくると思っているんだね。

「帰ってくる」と「深くうなずきました」をつなぐと、おばさんの前ではうなずくしかできなかったけど、強く言葉に出して言っているから、思いが強くなっていると思えます。(読みアイテム)

「よ」から、周りにはだれもいないので、自分に言っているんだと思えます。自分で自分を応援

「よ」から、周りにはだれもいないので、自分に言っているんだと思えます。自分で自分を応援

二の場面では、こわい人たちの中で、家族に会いたいと強く思っているちいちゃんのお母ちゃんもつと強くなっていると思えます。

今日のめあてを言いました。(列指名)今日は「きつと帰ってくるよ。」からちいちゃんのお母ちゃんとお兄ちゃんもつと強くなっていると思えます。

「きつと」をはずして読んだら、帰ってくるか分からなけれど、そうやってほしいという強い願いが分かります。(読みアイテム)

落ち込んでいるから絶対に帰ってくると思っているんだね。

「帰ってくる」と「深くうなずきました」をつなぐと、おばさんの前ではうなずくしかできなかったけど、強く言葉に出して言っているから、思いが強くなっていると思えます。(読みアイテム)

「よ」から、周りにはだれもいないので、自分に言っているんだと思えます。自分で自分を応援

「よ」から、周りにはだれもいないので、自分に言っているんだと思えます。自分で自分を応援

「よ」から、周りにはだれもいないので、自分に言っているんだと思えます。自分で自分を応援

「よ」から、周りにはだれもいないので、自分に言っているんだと思えます。自分で自分を応援

「よ」から、周りにはだれもいないので、自分に言っているんだと思えます。自分で自分を応援

「よ」から、周りにはだれもいないので、自分に言っているんだと思えます。自分で自分を応援

「よ」から、周りにはだれもいないので、自分に言っているんだと思えます。自分で自分を応援

「よ」から、周りにはだれもいないので、自分に言っているんだと思えます。自分で自分を応援

「よ」から、周りにはだれもいないので、自分に言っているんだと思えます。自分で自分を応援

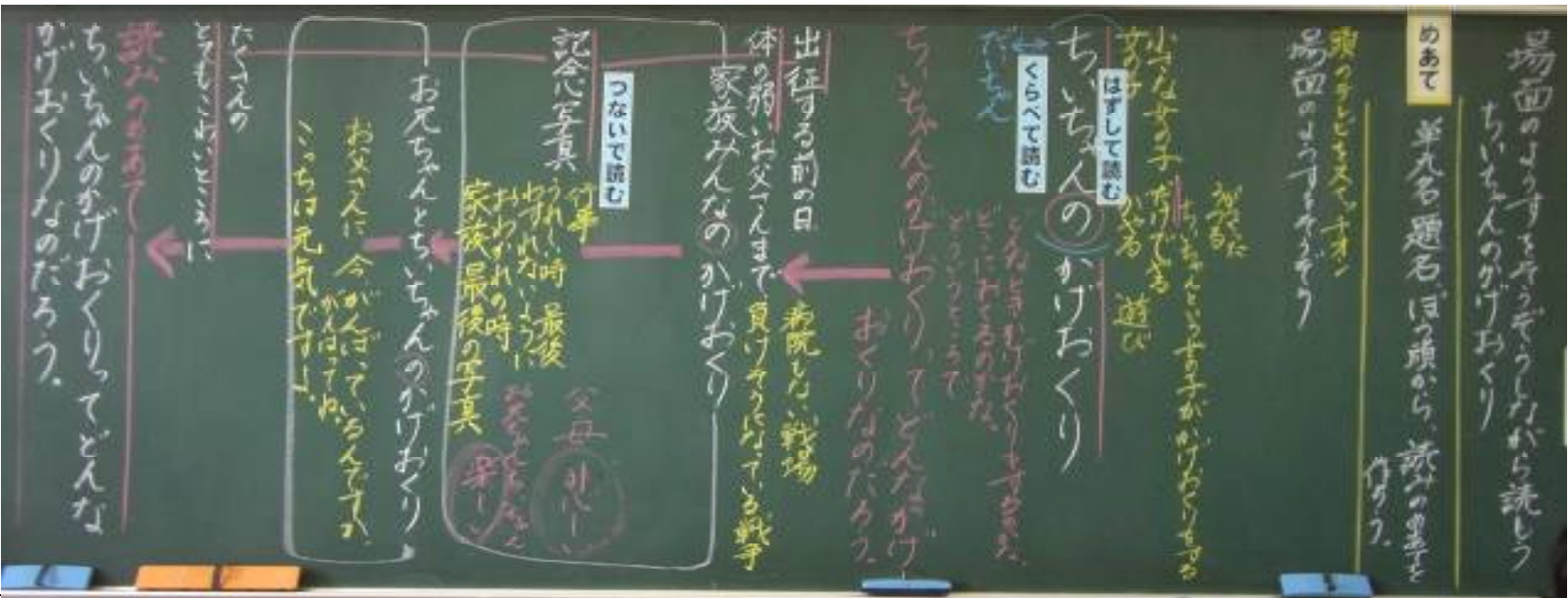
「よ」から、周りにはだれもいないので、自分に言っているんだと思えます。自分で自分を応援

「よ」から、周りにはだれもいないので、自分に言っているんだと思えます。自分で自分を応援

「よ」から、周りにはだれもいないので、自分に言っているんだと思えます。自分で自分を応援

「よ」から、周りにはだれもいないので、自分に言っているんだと思えます。自分で自分を応援

「よ」から、周りにはだれもいないので、自分に言っているんだと思えます。自分で自分を応援



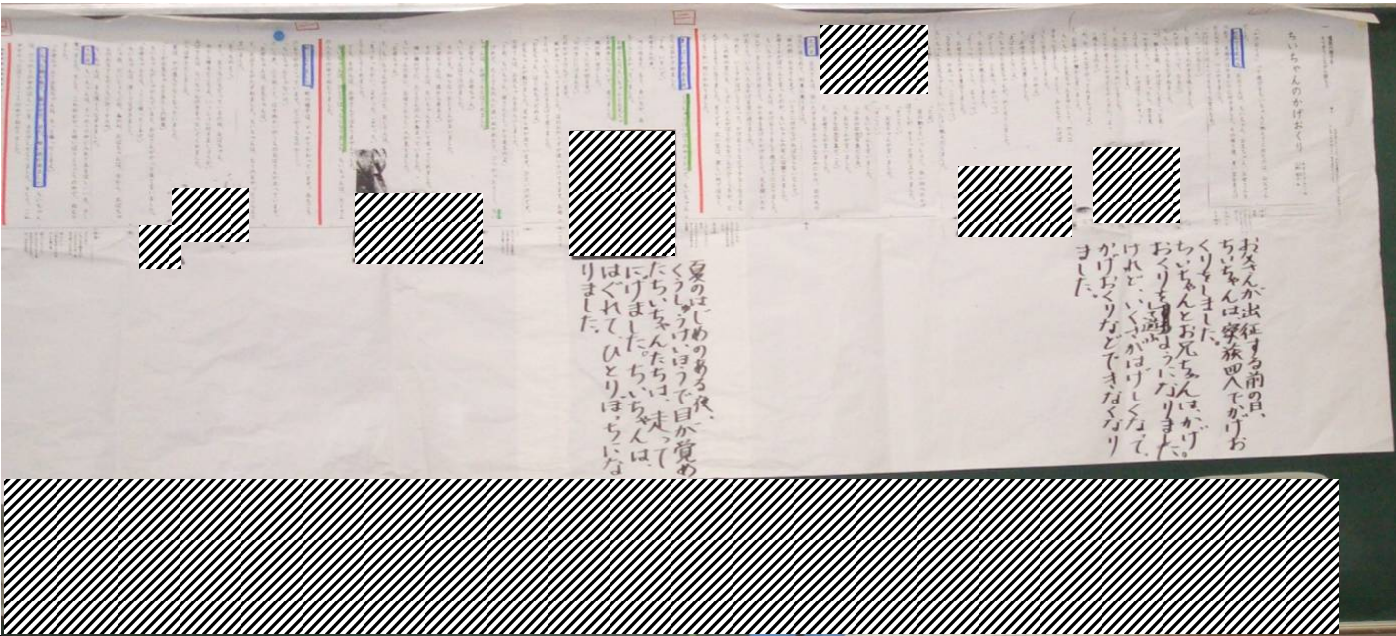
・楽しいかげおくり。
 ・お父さんに今がなばってっているんですかとか、お父さんがなばってねというメッセージだと思えます。こっちは元気ですよとか。
 T とてもこわいところにかわった空で、ちいちゃんのかげおくりはできそうか、できるならどんなかげおくりなのか読んでいきましょね。

- T 単元名「場面」のようすをそうぞうしながら読もう。ってどういうことか分かりますか？
- ・頭のテレビをスイッチオンということですか？
- ・登場人物の気持ちも考えるところです。
- T 映像として思い浮かべたり、気持ちを思い浮かべたりして読みましょね。今日から「ちいちゃんのかげおくり」を学習します。この題名から思い浮かべたことや分らないことを発表してください。
- T ちいちゃんだから、小さな女の子。
- T だいちちゃんと比べて読んだら、今の読み取りがよく分かるね。
- ・かげおくりって何かなあ。
- T かげおくりっていいのはね・・・(以下、かげおくりの説明) それでは、今発表してくれたように、題名の右に思い浮かべたこと、左に分らないことを書いてみましょう。
- T さん、発表してください。(指名)
- ・ちいちゃんのかげおくりだから、ちいちゃんがかげおくりだと思えます。
- ・ちいちゃんのかげおくりの「の」を別の言葉にすると、ちいちゃんだけでやるかげおくり。
- ・ちいちゃん一人でするかげおくりかも。
- ・どんなときにかげおくりをするのかなど。
- ・どこにおくるのかな。
- ・どういうところですかかな。
- ・ちいちゃんのかげおくりって、どんなかげおくりなのだろう。
- ・何か特別なかげおくりのかなと思えました。そうですね。の何何って言ったら、その人だけの特別な物っていうことになりますね。今、君たちは、「ちいちゃん」をはずして読んだんだよ。もっともっと、読みアイテムを使っていいこうね。それでは、この「ちいちゃんのかげおくりってどんなかげおくりなのだろう」という疑問をもって、書き出しである冒頭を讀んでみましょう。(冒頭範読)
- T ちいちゃんが一人でやったかげおくりは出てきたかな？
- ・家族四人でやったかげおくりは出てきました。お兄ちゃんと二人のかげおくりもありました。そうですね。一人のかげおくりは出てこなかったですね。家族四人のかげおくりってどんなかげおくりでしたか。
- ・お父さんが出征する前の日の記念写真でした。記念写真って、どんな時に撮りますか。
- T 行事のとき。うれしい時。最後のお別れのとき。家族最後の写真
- T お父さんやお母さんにとっては何？
- ・悲しいかげおくり。そのわけは、もうお父さんが帰ってこないから。
- T どこからそう分かるのですか？
- ・「体の弱いお父さんまで」と書いてあるから、もうお父さんは帰って来れないんだと思う。
- T すこい。今、「体の弱い」と「記念写真」をつないで読んだんだね。ちいちゃんとお兄ちゃんにとつては？
- ・楽しいかげおくり。初めてだから。
- T 次の、お兄ちゃんと二人のかげおくりは？

めあて

あらすじを書こう

場面のようすをさつぞうしなから読もう
ちいちゃんのかげおくり



- ・ちいちゃんはたくさんの人たちの中でねむりました
- T これは絶対いるとか、これはいらないとか意見はありませんか。
- ・ねむったところは、ひとりぼっちがあるから分かると思います。
- T 「夏のはじめのある夜、くつしゅつけいほうで目がさめたちいちゃんたちは、走って逃げました。ちいちゃんははぐれて、ひとりぼっちになりました。」と井とめまじゅつ。(以下略)

- T ちいちゃんのかげおくりってどんなかげおくりなのか読んでいきましょね。(全文範読)
- T ちいちゃん一人だけのかげおくりは出てきましたか。
- ・ちいちゃんが最後の力をふりしぼって、かげおくりをして、死んでしまいました。
- ・ちいちゃんが家族四人でかげおくりをして、天国にいったかげおくりでした。
- T 本当に四人でしたのですか？
- ・いや、一人です。
- T さし絵はこれですね。かげおくりをしたら、どのさし絵になりましたか？
- ・これです。
- T よく分かりましたね。じゃあ、このさし絵、全部、話の通りに並べ替えることができる人？
- (数人、黒板でさし絵の並べ替えをする)
- T すごいねえ。完ぺきですね。じゃあ、今度は、ちいちゃんがしたことが分かるように、言葉を言いながら並べ替えてくれる人？
- (数人、黒板で話のすじを言いながらさし絵を並べ替える)
- T よく言えたね。今のお話を、場面毎にまとめていきましょ。場面は何が変わったら違う場面になりますか。
- 時・場所・人物
- T では、まず、時を表す言葉を見つけてましょ。二の場面からですよ。で囲んでね。3分間。(3分とる)
- ・夏のはじめのある夜・朝になりました
- ・その夜・くもった朝が来て昼がすぎまた暗い夜が来ました
- ・夏のはじめのある朝
- それから何十年
- T よく見つけたね。ただ、このお話は、もっと分かりやすく時を表しているね。
- 一行空きで場面が分かれています。
- T そうだね。一行空きのところに線を引いて、場面の番号を書きましょ。じゃあ、場所は？
- ・ちいちゃんの家、橋の下
- ・ちいちゃんの家、橋の下
- T ちいちゃんの家、橋の下
- T 人物は？
- ・二の場面は三人から一人に、三と四の場面は一人、五の場面はゼロでした。
- T 場面毎のあらすじをまとめていきましょね。一の場面は先生がまとめてきました。「お父さんが出征する前の日、ちいちゃんは家族四人でかげおくりをしました。ちいちゃんとお兄ちゃんはかげおくりをして遊ぶようになりました。けれど、いくさがはげしくなっただけおくりなどできなくなりました。」時を表す言葉をはじめに書いて、ちいちゃんが出たことを中心にまとめていきましょ。二の場面のちいちゃんのことと必要だと思つところに線を引きましょ。(2分とる)
- くつしゅつけいほうのサイレンで、ちいちゃんたちは目がさめました。
- ・お母さんは、ちいちゃんとお兄ちゃんを両手につないで、走りました。
- ・ちいちゃんはお母さんとはぐれました。
- ・ちいちゃんはひとりぼっちになりました。

場面のようすをそつそつしながら読む
ちいちゃんのかげおくり

めあて

読みのめあて(答え)をまとめた
学習計画を立てよう。

読みのめあての答え

家族とはなればなれ
だったので、家族が会え
てとてもうれしいがな
かけおくり
やっと会えた、再会
会いたくて会いたくて
たまらなかつた

三日ぐらい
飲み物も食べ物もな
びたす、ちいちゃん、死んで
いたかわいしいかけおくり
だんだん弱っていた
小さな女の子、五才くら
い会えたりではない
苦しんだ

かけおくりして遊ぶを教えたのは
お父さんでした。

ちいちゃんとお兄ちゃんがかげおくりして遊ぶ



お母さんとお兄ちゃんがかげおくりして遊ぶ
お母さんとお兄ちゃんがかげおくりして遊ぶ
お母さんとお兄ちゃんがかげおくりして遊ぶ



お母さんとお兄ちゃんがかげおくりして遊ぶ
お母さんとお兄ちゃんがかげおくりして遊ぶ
お母さんとお兄ちゃんがかげおくりして遊ぶ



お母さんとお兄ちゃんがかげおくりして遊ぶ
お母さんとお兄ちゃんがかげおくりして遊ぶ
お母さんとお兄ちゃんがかげおくりして遊ぶ



お母さんとお兄ちゃんがかげおくりして遊ぶ
お母さんとお兄ちゃんがかげおくりして遊ぶ
お母さんとお兄ちゃんがかげおくりして遊ぶ

ちいちゃんがお父さんのかげおくりした所は

ところがしつかりと読めたらいいですね。分か

らない？はありませんか？

・どうしてだれもいないのに「帰ってくるよ」と

だれかに言っているのか？

・なぜ「かじりました」なのか？

・ちいちゃんは死んだのに、なぜ五の場面がある

のか？

・それもみんな確かめていきましょね。

T どんなかけおくりだったか発表できる人？
・ちいちゃんが一人でやったかけおくり。
・ちいちゃん最後の命をかけてやった悲しいか
げおくり。

・家族に会いたかったちいちゃんがやっと会え
た、うれしいかけおくり。

T 今、四人に言ってもらったけど、大きくは

2つに整理できますね。どんなかけおくりと
どんなかけおくりでしたか。

T 悲しいかけおくりとうれしいかけおくりです。

その通りです。他にもあればそれを書いて

もいいですよ。一番右にその答えを書いてく
ださい。左の上には、それが分かる教科書の

言葉を書きます。その下には、そこから何が
分かったかという自分の読み取りを書きます。

T それでは、書いた読みのめあての答えを全
員言ってください。(全員発表 略)

T じゃあ、まず、うれしいかけおくりからど
うしてそう読んだかわけを発表してください。

・「かけおくり」って遊びを「」から、かけお
くりは遊びなんだから、みんなでまた遊べる
からうれしいかけおくりだと思っ。

・「はぐれました」から、この時から会ってい
ないので、やっと会えてうれしいんだと思っ。

・「きつと帰ってくるよ」から、それだけ会いた
いと分かるから会えてうれしいと思っ。

・「お父ちゃん、お母ちゃん、お兄ちゃん」と言
っていて、四人に会えるうれしいさが分かる。

・「ういたのね」は、死ぬときの、ようやく
会えるうれしさでいっぱいだからうれしそう。

・「きらきらわらい出しました」や「走り出しま
した」から、早く会いたい、うれしいという
気持ち分かる。

・「命が、空に消えました」から、死んだとは書
かれていないので、うれしいと思っ。

T すごいね。各場面のわけになる言葉がきち
んと出されましたね。悲しいかけおくりとい
う人たちは、意見はありませんか？

・四人でかけおくりをして、会えてうれしいと
言っているけど、ちいちゃんは実は一人でや
っているの、やっぱり悲しいと思っ。

T 一人だから悲しいと言っているけど、一人
でどこに書いてあったかな？

・五の場面に、「ちいちゃんが一人でかけおくり
をした所は」って書いてあるので、ひとりぼ
つちでさびしく死んでいったかけおくりだと
思っ。

T じゃあ、悲しいかけおくりと言っている人
たちのわけを聞きましょうね。

・「はぐれました」「ひとりぼっち」から三日間
何も食べたり飲んだりしていないので悲しい。

・「ひどくのどがかわいています」から、苦しみ
ながら死んでいった悲しさが分かる。

・「小さな女の子の命」から、幼い子の短い命が
終わってかわいそうなかげおくり。

T うれしいの人たちは、家族に会いたくてたま
らない様子をもっとくわしく読めたらいいです
ね。悲しいの人たちは、だんだん弱っていった

ね。

ね。

ね。

ね。

ね。

ね。

はずす

ことばをはずして読むと、このことばの意味が分かる。

お母さんが「ぼつんと」言ったのが、ちいちゃんの耳には聞こえませんでした。

もうあきらめてお母さんの悲しさを

くらべるA

このことばを考えたら、そのことばの意味がはつきりする。

いろいろなかけを空に送りました。 上げました。

お父さんへのメッセージになっている

くらべるB

このことばを見つけたら、意味のちがいはつきりする。

少し食べました。 少しかじりました。

食よくがなくなってきたけど、何とかして家族に会うために生きようとしているちいちゃんのがんばり

つなぐ

前のことばとつなぐと、深い意味が分かる。

かじりました 暑いような寒いような ふらふらする 死にそうであつたらないけど、最後の力をふりしぼっている

自分だったら

自分とおきかえて考えると、人物の様子や思いが分かる。

ちいちゃんには、なくのをやっこところえて

自分だったら、一日家族とはぐれてひとりぼっちで、やっとなり合いに会えたらなきつくけど、それでもなくのをがまんするくらい、家族に会えることをしんじている。

同じことばA

同じことばが出てきたら、意味がちがうと思って読む。

深くうなずきました。 また深くうなずきました。

一しめはおぼろさんに向かつてつなぐ返事で、一しめは自分自身にたいしてつなぐ自分へのはげまし

ダッシュ

「ダッシュ」文を終わりまで言い切らないときに使うし、「」は書き表せない作者の思いがある。

追いつめられたり、ぶつかったりー。

どこがうちなのかー。

ほかにもいろいろあって大へんだった様子や、どこがうちのなかから分らないくらいとんでもない焼け野原になっている様子にたいして、ひどくてこれ以上書けないという作者の思い

場面と場面をくらべる

場面と場面のちがうところと同じところを見つけてくらべると、作者が言いたいことが分かる。

「きつつきの商売」一の場面と二の場面

ちがう・・・自分の音 雨の音

同じ・・・お客さんをしあわせにしている

自分ができることやみんなが気づいていないことで、まわりのみんなをしあわせにするきつつき

「ちいちゃんのかげおくり」一の場面と四の場面

ちがう・・・数えだした人 見つめたかげぼうしの数

同じ・・・言葉 楽しさ

ちいちゃんにとっては四人の楽しいかげおくりだけど、読み手にとってはちいちゃんが一人で命を送るかなしいかげおくり

同じことばB

同じことばが出てきたら、同じことばを使っている意味がある。

ちいちゃんはきらわらいました。

お兄ちゃんやちいちゃんぐらいの子どもたちが、きらきらわらい声を上げて、遊んでいます。

今、ふじつにわらっていることは、せんそう中は、死んでからしかできなかったことだといつこと。それぐらい、今の生活が平和でしあわせて大切なんだといつこと。

場面とは

場面とは、時、場所、人物で決まる。

夏のはじめのある夜

暗い橋の下

朝になりました。

こわれかかったぼうくうこう

夏のはじめのある朝

空色の花畑

あらすじ

あらすじは、さし絵をもとに、時を表すことばと、人物がしたことと言ったことから作る。

読みの学習の進め方

- 1 読み通しの目 題名とぼう頭から作る問題
- 2 予見 あらすじと読み通しの目の答
- 3 学習計画 予見のちがいがわからないことを読みたしかめる計画
- 4 読みたしかめ 場面ごとに、読みアイテムを使いながら読み深めていく
- 5 読みのまとめ 題名にもとって予見を見直す
- 6 読み方のまとめ 読みアイテムをまとめる